

# 未来への協働

2022年9月28日(水) 第350号

発行所 未来への協働  
ホームページ  
https://kyodomirai.org  
〒577-0023  
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5  
電話/FAX  
(06) 4306-3512  
郵便振替  
00940-8-213061  
Eメール  
mirai\_newsroom@yahoo.co.jp  
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行  
●200円(本体182円)  
●定期購読 購読料(送料別)  
1月 400円(送料188円)  
半年 2,400円(送料1,128円)  
1年 4,800円(送料2,256円)

## 今号の主な内容

- 2面 デニーさん、命と暮らしに全力
- 3面 女たちの「日の丸焼き捨て事件」②
- 4面 少女像、ピカドン、九条 神戸で不自由展
- 5面 日本軍「慰安婦」メモリアルデー
- 6面 沖縄女性の過酷な現実

紙面へのご意見、ご感想を  
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

# 新基地反対 民意固く

## 沖縄県知事選 玉城知事が圧勝

沖縄知事選挙は玉城氏 玉城知事は、「県民の33万9767票、佐喜眞 変らぬ民意、辺野古建設氏27万4844票と約6万5千票差をつけ、玉城デニー知事が再選をかちとった。

玉城知事は、「県民の33万9767票、佐喜眞氏が勝利。一方、辺野古建設問題は、民意が再選された。7月参院選はオール沖縄の伊波さんが勝利したが、僅差であった。

「民意、民主主義を取り戻し、次の社会をめざし」知事選だった。(庄)



9月17日(土) 三宮マリイ前の辺野古の海に基地をつくらせない神戸行動(写真上)。台風14号の影響で風が強い。ギターの弾き語りが好評。署名は若い人が多かった。沖縄県知事選の結果の報告、「国葬」反対などを訴えた。知事選支援に行った仲間から勝利の報告があった。



当選確実の報を受け、笑顔を見せる玉城デニー知事=11日、那覇市/時事

沖繩が半数を確保できなかった。今回の沖繩県知事選。厳しい状況を経験しながら、支援に行った。コロナにより沖繩経済は打撃を受けている。政府は、県が辺野古に反対すれば沖繩振興予算を削り、容認すれば増やすという露骨な攻撃を続けてきた。仲井眞・元知事の下で14年度予算

「安倍元首相の国葬に反対です！」集会とデモ兵庫の第2弾。市民デモH Y O G O、憲法改悪ストップ共同センターが共催した。(9月17日、神戸市内)。8月第1弾を上回るほど、約400人余が集まった。集会では、内田樹さん(神戸女学院大名誉教授、思想家)がスピーチ。「国葬に異議あり。中止し



集会で発言する内田樹さん=17日、神戸市

「旧統一教会との癒着の中心にいた安倍元首相、自民党議員らの関係を徹底調査し明らかにするべき。民意は明らか。大横断幕をかかげ、三宮センター街へ。多くの人が注目し、拍手をする人も。その後、JR元町駅前「国葬に反対します」「安倍元首相の悪政を問う」など訴えた。

「我、一命を賭して全ての統一教会に関わる者の解放者となるらん。」山上容疑者が相談していた人へのメールと言われている。食べるのにも窮する毎日、宗教2世たちの心身の苦しみと絶望▼度重なる統一教会への解散要請を無視し、正体隠しの名称変更によりサインを出した下村元文科相。自民党と統一教会との政治的、組織的、心情的な癒着が暴かれた。今回の事件がなければ、カルト宗教と一体となった独断政治、戦争国家へのイデオロギー攻撃が隠蔽されたままになっていたであろう▼私たちが、そういう社会のあり様に見てみぬふりをしてきたのではないのかという叫び声が聞こえてしまいか。彼を地獄に追い込んだ政治や社会を放置して、誰が彼を批判できるというのか。社会や政治を振り返る機会が幾度かあったはずだ▼いま、社会の変革に踏み出せなかったら、私たちは自ら犯した過ちから、何一つ学ぶことができなかったことになる。そうなれば誰にも彼を裁く資格はあるまい。(村)

## 国葬反対の声広がる

### 内田樹さんがスピーチ

「安倍元首相の国葬に反対です！」集会とデモ兵庫の第2弾。市民デモH Y O G O、憲法改悪ストップ共同センターが共催した。(9月17日、神戸市内)。8月第1弾を上回るほど、約400人余が集まった。集会では、内田樹さん(神戸女学院大名誉教授、思想家)がスピーチ。「国葬に異議あり。中止し

## 扇状地

「我、一命を賭して全ての統一教会に関わる者の解放者となるらん。」山上容疑者が相談していた人へのメールと言われている。食べるのにも窮する毎日、宗教2世たちの心身の苦しみと絶望▼度重なる統一教会への解散要請を無視し、正体隠しの名称変更によりサインを出した下村元文科相。自民党と統一教会との政治的、組織的、心情的な癒着が暴かれた。今回の事件がなければ、カルト宗教と一体となった独断政治、戦争国家へのイデオロギー攻撃が隠蔽されたままになっていたであろう▼私たちが、そういう社会のあり様に見てみぬふりをしてきたのではないのかという叫び声が聞こえてしまいか。彼を地獄に追い込んだ政治や社会を放置して、誰が彼を批判できるというのか。社会や政治を振り返る機会が幾度かあったはずだ▼いま、社会の変革に踏み出せなかったら、私たちは自ら犯した過ちから、何一つ学ぶことができなかったことになる。そうなれば誰にも彼を裁く資格はあるまい。(村)

# デニーさん、命と暮らしに全力 「ウチナーの未来は、ウチナーが決める」



名護市・東江交差点で街頭宣伝中=6日

## 台風接近の中、那覇へ

9月3日 台風11号接近のなか、3人は那覇に着陸できなかった。横殴りの雨と強風、まず県議補選の上原快佐さんの事務所。自公、参政党、NPO代表の候補の4人が争う。翁長雄治県議が、那覇市長選立候補のために辞職したことに伴う補選だ。

玉城県政での県議会の構成は、与党23、野党・中立23で拮抗している。知事選必勝とともに重要な選挙である。

## 名護市議選告示

9月4日 デニー知事の支援行動。ヘリ基地反

対協・うまんちゅの会の事務所へ。辺野古神戸行動からの色紙と辺野古ブルーHYOGOの「必勝せんべい」を渡した。この日、名護市議選も告示。辺野古建設に反対する大城ヨシタミ候補の出発式に行く。大城さんは82歳、12回目の挑戦。支援者は、「熱心に生活相談に応じる」「名護市の辺野古反対派議員のまとめ役」と言っていた。舞踏家の牧瀬茜さんがパフォーマンスを披露。大城さんは、市議会では高額療養費の限度額制度を新設、旧消防庁舎跡地等の「売却問題」で名護市当局を迫及する。名護市が売却先を公募、A社5億5千万円、B社4億2千万円、C社2億円。名護市の評価委員8人はB社に決めた。市民の財産を1億3千万円も安く売ったのは納得できないと追及している。

## 沖繩の民主主義を守る

9月5日 朝9時から3時まで、名護市議候補大城さん支援行動。雨天だったがチラシ配布などを頑張った。4時から玉城知事候補の応援のため街頭行動。台風11号により宮古・石垣、先島諸島に大きな被害が出た。デニー候補本人が名護市民に直接訴える予定だったが、知事として急遽現場を訪れたため、高良鉄美参院議員、屋良朝博前衆院議員が応援に入った。

「デニー知事は、県民の命と暮らしを守るために全力で取り組んでいきます。台風被害のため先島諸島に行った。コロナ対策、1日に2万7千回のPCR検査を実現している。全国でもトップクラス。救急車の遅延もほとんどない。平和を守るため、辺野古新基地に反対。民意、沖縄の民主主義を守る選挙。沖縄の、子どもたちの未来のために今の状況、政治を変えていかなければ。平和な豊かな

## 弾圧生関 「懲役8年」の不当求刑 労働組合否定する検察

9月13日午後、大津地裁(滋賀県大津市)で2018年から続く関西地区生コン支部のコンプレックス活動にたいすライアンス活動にたいす所前で街宣が行われた。裁判は午後4時半まで続いた。午後4時から傍聴者以外で大津地検と大津地裁を取り囲むデモが行われた。論告求刑で検事は、コンプライアンス活動について、「軽微な



不備に因縁をつけ」という言葉を何十回も繰り返した。しかし、労働者や周辺住民の安全に関わる会社の違法行為を労働組合が指摘するのはあたり前のことだ。この論告で検事が憲法28条や労働組合法をまったく理解していないことが明らかにされた。検事は湯川裕司・関生支部執行委員長に8年、他の5人にも4年6カ月から2年6カ月を求刑した。JR大津駅前で行われた報告集会では、弁護士が論告求刑の内容を報告し、湯川委員長等が「ことん闘うだけだ」と決意を表明した。

## やめろ！安倍国葬 「街に出て抗議しよう」

9月19日、大阪市内で「安倍元首相の国葬反対！大阪集会」が開かれた。台風が近づいているので参加者は少ないのではないかと思っていたが、満席を通りこして立ち見まで。秘密保護法、自衛隊集団的自衛権、安保法強行採決、モリ、加計、桜に見る公文書偽造まで、腹に据えかねている人がいかに多いかとい

講師の高作正博さん(関西大学法学部教授)は、国葬の問題点の一つとして、内閣府設置法で国葬をおこなうのは無理がある、と述べた。同法第4条第3項には「前条第2項の任務を達成するため、次に掲げる事務をつかさどる」とあり、その「三十三」として「国の儀式並びに内閣の行う儀式」がある。これを根拠としているが、ここでの「国の儀式」とは「皇室、栄典」にかかわることである。これを根拠にして国葬はできない。

また、費用の点でも国会の承認がいらぬ予備費を使うこと、吉田茂や中曽根康弘の葬儀と比べ、決して民主主義の破壊ではない。「民主主義を壊してきたのは誰なのか」と高作さんが指摘すると、満場の拍手がわき起った。(池内潤子)

連載 「復帰」50年 沖縄の旅

# わたちの『日の丸』焼き捨て事件 ②

私たち(同行4人)は、艶子さんからの誘いを受けて、残波海岸に近い自宅にお邪魔した。たくさんのお土産が用意されていて、夫の盛康さんや同居の娘さんも交えて、話に花が咲いた。

## 知花艶子さん 「いろいろあったけれどがんばったね」

あの日は私(艶子さん)は地区の公民館で働いていた。「ソフトボール会場で日の丸が焼かれ、一人は逮捕、もう一人は逃げた」とラジオで聞いたけれど、お父さん(盛康さん)は畑に行っているし別の人だと思っていた。でも、夜になっても帰ってこないのもう大変。それから村中で騒ぎになり、「警察沙汰になることをするなんて」と非難する人もいて、「お父さんも昌一さんも悪いことしてないよ」と言い返しながらも辛い思いもあった。でも、知り合いのおばあが来てくれて「イキガヤ ウヌアタイ イシアリワルヤル(男はそのくらい在意地があるべきだ)！」と言って

た。私はただ自分の経験をもそのまま話しただけだったんだけど。各地の女性の集まりにも、三里塚や北富士の集会にも行った。若い時、『暮しの手帖』で北富士・忍草の会のことを読んで、母の会のことを読んで、とがあり、あのお母さんたちに会えて感動した。東京の集会の帰り、羽田空港で硬貨がいっぱい入ったままの会場カンパの袋が検査場で引っかかり、飛行機に乗り遅れたこともあった。そんな思いをして裁判支援の事務局に持って行った「袋の表に書いてある金額と違う」と言われて、「私は中は触らないよ」と憤慨した。(まるで昨日のこのように、いきいきと語ってくれる艶子さん)



デモに参加したときの知花艶子さん(中央の女性) = 1987年10月24日、那覇市 / 筆者撮影

各地の集會に夫婦で呼ばれて行くようになり、私の話にみなさんがすごく拍手してくれて驚いた。地元、全国の支援の人々との出会い

子どもたちが見ている 当時、子どもは12歳から4歳までの4人。経済的にも苦しかったけれど、子どもたちを守らなければと必死だった。裁判には子どもも連れて行った。次女が、小学校の作文に「お父さんはけいさつにつかまった、悪いことはしてないのに」と書いたと先生から聞いて、親の知らないところで父親のことを考えている



裁判終了後に行われた原告と弁護団による記者会見 = 14日、大阪市

読谷村には19区の地区があつてそれぞれに「方

言」があること、沖縄ソーキが入った大根汁とが私たちを見る、がなばろうと思つた。子どもたちはみな成長し、結婚した相手にも父親のことをちゃんと話しているよ。

無理かな…

た。私はただ自分の経験をもそのまま話しただけだったんだけど。各地の女性の集まりにも、三里塚や北富士の集会にも行った。若い時、『暮しの手帖』で北富士・忍草の会のことを読んで、母の会のことを読んで、とがあり、あのお母さんたちに会えて感動した。東京の集会の帰り、羽田空港で硬貨がいっぱい入ったままの会場カンパの袋が検査場で引っかかり、飛行機に乗り遅れたこともあった。そんな思いをして裁判支援の事務局に持って行った「袋の表に書いてある金額と違う」と言われて、「私は中は触らないよ」と憤慨した。(まるで昨日のこのように、いきいきと語ってくれる艶子さん)

各地の集會に夫婦で呼ばれて行くようになり、私の話にみなさんがすごく拍手してくれて驚いた。地元、全国の支援の人々との出会い

子どもたちが見ている 当時、子どもは12歳から4歳までの4人。経済的にも苦しかったけれど、子どもたちを守らなければと必死だった。裁判には子どもも連れて行った。次女が、小学校の作文に「お父さんはけいさつにつかまった、悪いことはしてないのに」と書いたと先生から聞いて、親の知らないところで父親のことを考えている

読谷村には19区の地区があつてそれぞれに「方

言」があること、沖縄ソーキが入った大根汁とが私たちを見る、がなばろうと思つた。子どもたちはみな成長し、結婚した相手にも父親のことをちゃんと話しているよ。

無理かな…

た。私はただ自分の経験をもそのまま話しただけだったんだけど。各地の女性の集まりにも、三里塚や北富士の集会にも行った。若い時、『暮しの手帖』で北富士・忍草の会のことを読んで、母の会のことを読んで、とがあり、あのお母さんたちに会えて感動した。東京の集会の帰り、羽田空港で硬貨がいっぱい入ったままの会場カンパの袋が検査場で引っかかり、飛行機に乗り遅れたこともあった。そんな思いをして裁判支援の事務局に持って行った「袋の表に書いてある金額と違う」と言われて、「私は中は触らないよ」と憤慨した。(まるで昨日のこのように、いきいきと語ってくれる艶子さん)

## 「先祖の遺骨を返せ」 琉球民族の未来かけて 大阪高裁

原告弁護士は、国際人権法と憲法、ヤマトと琉球の慣習の違い、民法の慣習の違い、民法897条について原告の本人尋問、証人申請した。琉球遺骨返還訴訟は、京都大学に「保管」されている百按司墓から盗掘した遺骨を「拜ませしてほしい」と子孫が訪問したことが門前払いしたこと。照屋寛徳・元衆院議員が、国政調査権により、遺骨が京大博物館のプラスティック箱に入れられ放置されている実態を明らかにした。原告の要求は、「遺骨を元の場所に返してほしい」「琉球の伝統的な方法で遺骨を弔うてほしい」というもの。2018年12月4日、松島泰勝・龍谷大学教授を原告団長に、祭祀継承提起した。(高崎)

た。私はただ自分の経験をもそのまま話しただけだったんだけど。各地の女性の集まりにも、三里塚や北富士の集会にも行った。若い時、『暮しの手帖』で北富士・忍草の会のことを読んで、母の会のことを読んで、とがあり、あのお母さんたちに会えて感動した。東京の集会の帰り、羽田空港で硬貨がいっぱい入ったままの会場カンパの袋が検査場で引っかかり、飛行機に乗り遅れたこともあった。そんな思いをして裁判支援の事務局に持って行った「袋の表に書いてある金額と違う」と言われて、「私は中は触らないよ」と憤慨した。(まるで昨日のこのように、いきいきと語ってくれる艶子さん)

た。私はただ自分の経験をもそのまま話しただけだったんだけど。各地の女性の集まりにも、三里塚や北富士の集会にも行った。若い時、『暮しの手帖』で北富士・忍草の会のことを読んで、母の会のことを読んで、とがあり、あのお母さんたちに会えて感動した。東京の集会の帰り、羽田空港で硬貨がいっぱい入ったままの会場カンパの袋が検査場で引っかかり、飛行機に乗り遅れたこともあった。そんな思いをして裁判支援の事務局に持って行った「袋の表に書いてある金額と違う」と言われて、「私は中は触らないよ」と憤慨した。(まるで昨日のこのように、いきいきと語ってくれる艶子さん)

インフォメーション

10月16日(日)

第16回反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 変えよう! 日本と世界

「新しい資本主義」に抗し、軍拡・改憲を阻止する大衆運動の構築へ

●午後1時半開場 午後2時開会 ※集会後デモ

●京都・円山野外音楽堂(祇園・円山公園内)

講演: 木戸衛一さん(大阪大学大学院教授/ドイツ現代政治、平和研究)

特別挨拶: 重信房子さん(元・日本赤軍)

主催: 反貧困・反差別共同行動 in 京都実行委員会

# 農地守り、空港拡張を阻む

## 10月9日 成田市で全国集会開催

新やぐら裁判で 不当判決

市東さんの農地を取り上げる農地法裁判・請求異議裁判の終結(昨年6月)から1年余、法的にはいつ強制収用が強制されてもおかしくない状況が続いている。

9月2日には東京高裁が、市東さんの天神峰農地に建つ反対同盟のやぐらと看板の撤去を求めた空港会社(NAA)の訴えを認める不当判決を出した。東京高裁は、用地買収の不法・不正を明らかにする旧公団用地部職員に「不法耕作地」として、NAAが取り上げようとしている裁判だ。8月22日に開かれた口頭弁論で、千葉地裁・本田裁判長は、「裁判開始から15年」「弁論は46回重ねてきた」として、「論点整理」を終わらせ、証拠・証人調べに入ろうとしている。

### 強権的な訴訟指揮

市東さんの農地をめぐるもう一つの裁判、耕作権裁判も転換点を迎えている。これは、市東さんの耕作地の一部が強権的に審理を進めようとしている。

10月30日の進行協議を以て、反対同盟は「地球環境破壊と気象変動をもたらす、すべての空港拡張計画の白紙撤回を求めます」と署名活動と呼びかけている。空港周辺地域住民のたたかいととも、様々な視点から空港機能強化計画の白紙撤回を求めるたたかいが広がっている。

### 地域と地球環境の破壊

9月4日、反対同盟は今秋開始予定の機能強化計画の工事実施(B滑走路北再延伸工事)にたいし、現地闘争を行った。コロナ化で航空バブルがはじけ、成田空港は破綻の危機に直面している。



東京高裁前で抗議のシュプレヒコールをあげる三里塚反対同盟と支援者ら=2日、東京都千代田区

るところがNAAは「長期計画は別」とばかりに、再度の「航空・観光バブル」を追いかけている。その姿には哀れさを感じず。成田空港の赤字は一昨年(714億円)、昨年(524億円)に続いて本年度も330億円となること明らか。航空復活の元年(NAA)は夢のまた夢だ。空港拡張による成田の巨大化は無用の長物である。

# 少女像、ピカドン、九条

## 神戸で「表現の不自由展」

「表現の不自由展K.O.」運動が合流し実行委員会が、9月10日、11日神戸で開かれた。半年以上続く「表現の不自由展」の中心になって呼びかけた人々と市民が、会場も妨害に屈しなかつた。多くの力があった。多くの力があった。多くの力があった。



「表現の不自由展」会場内のようす=10日、神戸市

「表現の不自由展」会場内のようす=10日、神戸市

会場外にいたため、ゆっくり作品を見られなかった。何人かの人に感想、意見を聞いた。「平和の少女像の横に座らせてもらった。胸に迫り、痛み、ゆっくり座ることができなかった。丸木位仁の『ピカドン』。1950年に出版という手づくりに近い絵本。数頁の展示だが真実に迫る。『梅雨空に九条守の』女性デモ・秀句とされたから公民館だよりから排除された。2014年のこと。『反戦、反帝の旗』があり、本当に嬉し

### closeup

## 民主社会に許容されない ウトロ放火懲役4年

ウトロ地区(京都府宇治市)の木造家屋に放火し、計7棟を焼損させた「ウトロ地区放火事件」で、京都地裁は有本匠吾被告(23)に求刑通り懲役4年(8月30日)の判決を言い渡した。判決は確定した。

折念館でシンポジウム

ウトロ地区放火事件をめぐる京都地裁ヘイトクライム裁判の判決を受け、ウトロ民間基金財団と京都府・京都市に有効なヘイトスピーチ対策の推進を求め、京都におけるヘイト事

### 折念館でシンポジウム

ウトロ地区放火事件をめぐる京都地裁ヘイトクライム裁判の判決を受け、ウトロ民間基金財団と京都府・京都市に有効なヘイトスピーチ対策の推進を求め、京都におけるヘイト事

### 豊福誠二・ウトロ弁護団長が「日本ではヘイトスピーチやヘイトクライムを規制する法がなく、刑量に考慮されてこなかった」など問題点を指摘し、京都におけるヘイト事

折念館でシンポジウム

ウトロ地区放火事件をめぐる京都地裁ヘイトクライム裁判の判決を受け、ウトロ民間基金財団と京都府・京都市に有効なヘイトスピーチ対策の推進を求め、京都におけるヘイト事

会場周辺でヘイト集団の「訴え」を初めて聞いた。彼らは歴史修正主義者として「慰安婦問題を否定し、差別的な言辭をまきちらし、昭和天皇の写真を燃やす」動画により激烈に反応する。ただしその主張には一貫性がなく、矛盾だらけだ。レイシズムが市民に通用しないことへの「苛立ち」のようなものさえ感じる。

道の向こうには、「表現の不自由展」に反対する会「桜チャンネル」新党くにもりのノボリが見えた。新党くにもりは明白なヘイト集団であると認識した。(啓)

## ウトロ放火懲役4年

ウトロ民間基金財団理事長は、ヘイトクライムに対して、あいまいな態度しか取れなかった日本の司法の限界を指摘し、「被害者の声、支え見守る人たちの声があって、このような事件は『到底許されない』と

### 折念館でシンポジウム

ウトロ地区放火事件をめぐる京都地裁ヘイトクライム裁判の判決を受け、ウトロ民間基金財団と京都府・京都市に有効なヘイトスピーチ対策の推進を求め、京都におけるヘイト事

### 豊福誠二・ウトロ弁護団長が「日本ではヘイトスピーチやヘイトクライムを規制する法がなく、刑量に考慮されてこなかった」など問題点を指摘し、京都におけるヘイト事

折念館でシンポジウム

ウトロ地区放火事件をめぐる京都地裁ヘイトクライム裁判の判決を受け、ウトロ民間基金財団と京都府・京都市に有効なヘイトスピーチ対策の推進を求め、京都におけるヘイト事

### 新・私のジェンダー考 (7)

8月14日、日  
本軍「慰安婦」  
問題解決全国行  
動が主催する  
オンライン集  
会が開催され  
た。金学順さん  
が被害者として  
名乗り出たの  
が、1991年  
8月14日だった。  
2012年に台  
湾で開催された  
アジア連帯会議で、8月  
14日を日本軍「慰安婦」  
メモリアル・デーとする  
ことが決まり、翌13年か  
ら毎年この日に様々な取  
り組みが行われている。

日本軍「慰安婦」問題  
の解決がなされない社会  
は、その問題と地続きで、  
今も性暴力、性搾取がは  
びこり、被害が続いてい  
る。10回目の今回はその  
リアルな現状が報告され  
た。また、すでに亡くなっ  
た被害者たちが、自らの  
被害を乗り越え、平和人  
権活動家として最期まで  
行動されたことを記憶し、  
継承することを通じて私  
たちに何ができるのか考  
えようと訴えられた。

プログラムの最初で各  
国のサバイバーの訴えの  
記録映像が流された。サ  
バイバーたちは異口同音  
に、公式謝罪を拒否する  
日本政府への怒りや、カ

## 記憶されない歴史は 繰り返される (上)

日本軍「慰安婦」メモリアル・デー 浅田洋二

「今も続く性搾取」  
怖も感じた。しかし、「慰  
安婦」問題を学んでいく  
うちに、現代の少女たち  
への性搾取を無きものに  
したい人たちと、「慰安  
婦」問題を無かったこと  
とにも居場所がなく、  
夜通し街で過ごさざるを  
得ないような女性たちと  
直接つながり、支えるこ  
とが活動の中心。困難を  
抱える女性たちが様々な  
暴力や搾取に行き着かな  
くてもすむようにこの社  
会を変えることを目指し  
ている。

仁藤さんは、金福童さ  
んのメッセージを韓国で  
直接聞き、固い握手を交  
わしたことが強く印象に  
残っているという。そう  
いう仁藤さんも、活動を  
始めた頃は、「慰安婦」  
問題との関連を意識して  
いたわけではなかった。

2014年、仁藤さん  
は少女たちを性搾取する  
加害者の手口や買春者の  
実態をまとめた『女子高  
生の裏社会』(光文社新  
書)を出版。翌年、外国  
人記者クラブでそうした  
実態を告発した。そのこ  
とに対して、「仁藤は『慰  
安婦』『仁藤は朝鮮人』  
「日本を陥れようとして  
いる」などの差別攻撃を  
受けるようになる。

当初はなぜこんな攻撃  
を受けるのか分からず恐  
ろ

『歴史修正主義』 武井彩佳・著  
ヒトラー賛美、ホロコースト否定  
から法規制まで  
中公新書 2021年刊 840円(税別)

私たちがあまり知  
らない欧米の歴史修  
正主義の歴史と実態  
を、歴史学者として  
の責任を痛切に問  
いながら、追っている。  
1978年、歴史  
修正研究所(米)が  
アウシュビッツの  
「ガス処刑」を証明  
できたら5万ドルの  
報奨金をだすという  
催しを行なった。ガ  
ス室での生存者はあ  
り得ず、収容所生存  
者が呼びかけに  
刑」の事実がなかつ  
たとする魂胆であ  
る。

## 「真偽不確か」まん延させてはならない

武井彩佳著  
歴史修正主義  
ヒトラー賛美、ホロコースト否定論から  
法規制まで  
歴史とは何か?  
人種差別やナチ賛美の主張は、  
どのよう生まれ、拡散したのか。  
彼らを法で止めることはできるのか――。  
事実とは何か?  
中公新書 2664 定価840円(税別)

「真偽不確か」まん延させてはならない  
カナダでも「ツ  
ンデル裁判」(85  
年と88年)で、エ  
ルンスト・ツンデ  
ル(ホロコースト  
否定論者)に9  
15カ月の禁固刑が  
言い渡された。イ  
ギリスでは、「歴  
史が被告席に立た  
下の禁固刑又は罰金刑)は有名で、94年改正の3  
項(ナチスの行為是認、  
否定、歪小化行為)では、  
19年に114件が有罪  
に、1項(民族的・人種  
的憎悪を煽る行為)では  
有罪が578件に上る。

「真偽不確か」まん延させてはならない  
「議論の余地ない  
事実」と、報奨金  
プラス慰謝料(計  
9万ドル)と生存  
者への謝罪を命ず  
る和解勧告を出  
し、主催者も応じ  
ざるを得なかつ  
た。この裁判では、アウ  
シュビッツの焼却炉が  
「大量死体焼却炉」とし  
て特許を申請した話など  
が出てくる。

現在、ドイツや西欧で  
は、ホロコースト否定論  
など悪質な歴史修正主  
義は法で規制されてい  
る。ドイツの刑法130  
条(民衆扇動罪)5年以  
下の禁固刑又は罰金刑)は有名で、94年改正の3  
項(ナチスの行為是認、  
否定、歪小化行為)では、  
19年に114件が有罪  
に、1項(民族的・人種  
的憎悪を煽る行為)では  
有罪が578件に上る。



アウシュビッツ強制収容所の正門ゲート

論破すればするほど歴史  
修正主義が活力と新たな  
支持者を獲得し、実際の  
議論は歴史から遠ざかっ  
たという。  
トランプの登場で、嘘  
の入り混じった言説が  
「オルタナティブ・ファ  
クト(もう一つの事実)』  
となり、世界中で「私に  
とっての真実」が解禁さ  
れた。「真偽の確かでない  
ものが社会の真ん中に  
堂々と鎮座し始め、私た  
ちの認識を不安定にさせ  
た」と。歴史家が歴史修  
正主義と直接対峙してこ  
なかつた責任を問うこと  
もに、社会の側の問題、  
私たちの知的怠慢や、社  
会と民主主義の問題を問  
い直さねばならないと警  
鐘を鳴らす。シヨックを  
受けた。(石田)



三里塚「産直野菜」は有機  
無農薬。毎週・隔週、「お  
試しセット」あり。  
【お問い合わせ】  
TEL/0799-72-5242  
E-mail/kanjitsu\_mail@yahoo.co.jp

トガシさんの「沖縄便り」④

### 知事選勝利、工事は再開

知事選勝利で少し元気がありました。明らか、政権の意図がみえています。自公政権の推す候補は、政府とのパイプを強調しました。『琉球新報』8月30日の記事には、自民の閣僚経験者が「佐喜真氏が勝ったら年末の予算編成で増やせばいい」とあからさまに語っていました。予算要求を減額して、

今回の一部市町村の首長、市町村議員選挙、県選補選も行われました。選挙戦の中で予算要求となり。沖繩への要求を減額して、予算は内閣府が作りま

側が勝ちましたが、宜野湾市長選では負け、名護市議員選挙でも辺野古反対議員が過半数を割り、

全面勝利とはいきませんでした。それでも、知事選勝利は本土に、政権に、届くと思われ。気持ち

が前向きになります。辺野古埋め立てを承認した仲井真知事の時

は、要求額よりも多い3501億円が下りて来

ました。明らかに、政権の意図がみえています。自公政権の推す候補は、政府とのパイプを強調しました。『琉球新報』8月30日の記事には、自民の閣僚経験者が「佐喜真氏が勝ったら年末の予算編成で増やせばいい」とあからさまに語っていました。予算要求を減額して、

予算は内閣府が作りま

れは増やせばよいというのです。そこに、「政府とのパイプ」が選挙戦に

使われるのです。9月13日の『琉球新報』「再選した玉城知事

に聞く」というインタビュー記事がありまし

た。記者から、辺野古新基地反対の取り組み

に、「政府や官僚にカウ

ンターパート(対応相手)がいるのか」と訊か

れ、知事は「大田昌秀県政時代からの政府のカウ

ンターパートは、政府の意見を具民に納得させる

役割を演じた。政府に力

を、世界に問題を提起

する方が幅広いカウン

ターパートが得られる」と語っています。



デニー知事の答えた。良識ある自民党議員なら、聞く耳を持たなければまずいと思うはずで

玉城知事の当選が決まった翌12日、松野官房

長官は午前の記者会見で

「辺野古移設が唯一の解決策」と繰り返しました。

「活動」再開を告げるFAXが入りました。

私たちは座り込むしかないのでしょうか。

（富樫 守）

「女たち問題、」階級闘争史観からの転換「地域社会のつながりを切り口に「非正規雇用労働者の主体的登場」に共感。新自由主義への不安のいま、特

このコーナーでは、読者のみなさんから寄せられた紙面へのご意見や感想を掲載しています。

米軍の占領統治時代にバスコントロールが得意ななかった影響と言われている。戦後、本土で家族計画が進められ、女性が避妊法を手に入ることができたが、占領下

「産み育て」の領域がぜい弱だった沖縄は、復帰後も本土では整備された社会保障が抜け落ちたまま現在にいたっている。沖縄の若者たちが生きている「貧困と暴力の連鎖」という現実には、長期にわたる米軍支配や基地経済などの構造的要因がある。その構造を生み出しているものこそ、

今なお戦争と軍備増強の最前線として沖縄を位置づけ、そこに生きる人びとの生活を顧みようと

しない日本国家の存在である。そして、それを許している本土民衆の無関心がある。基地撤去はも

ちろんのことだが、沖縄民衆がおかれている国の差別政策の結果としての生活の過酷さ、その生々しい現実

に肉薄することが求められていると思う。

（当間 三子）

### まい・しよっと (36)



那覇から神戸空港に向かう11900m上空から、真っ青の海に馬毛島が見えた。カラーで出せないのが残念...

(撮影9月7日、庄)

### 川柳

ヤマセミ

沖繩は屈しないぞと胸を張る 沖繩に元氣もらって前を向く 安倍さんの功罪語らず国葬に この国は欲張りジイサンばかりなり

のぶを

台風は産んだ覚えなくやって来る 敬老日スマホないのにポイントか 日常の三度の飯にいのちかけ 年寄り居場所なくして徘徊す 財布には札などなくて診察券 彼岸花 あの人の指思ひ出し 国葬は無駄遣いして罪深く 空澄んで蜻蛉の向こう軍用機



### 視線 沖縄女性の過酷な現実 本土の無関心が助長

琉球大学教授の上間陽子さんと社会学者の打越正行さんの耕論「沖縄女性たちの現実」が8月24日付の朝日新聞に掲載された。そこでは沖縄の女性たちに対する男の暴力が、本土では見られな

男たちに搾取され、暴力の対象となってきた女たち。そこにアンダークラスに置かれた人びとの現実がある。 沖繩の一人当たり県民所得は全国で最下位だ。働く女性のための学童保育や補助金などの子育て環境も整っていない。沖縄が子だくさんなのは、

「産み育て」の領域がぜい弱だった沖縄は、復帰後も本土では整備された社会保障が抜け落ちたまま現在にいたっている。沖縄の若者たちが生きている「貧困と暴力の連鎖」という現実には、長期にわたる米軍支配や基地経済などの構造的要因がある。その構造を生み出しているものこそ、今なお戦争と軍備増強の最前線として沖縄を位置づけ、そこに生きる人びとの生活を顧みようとしない日本国家の存在である。そして、それを許している本土民衆の無関心がある。基地撤去はもちろ